

9月5日（木） 2024年度秋季リーグ戦第1節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	2	1	0	1	1	1	0	6		12
東阪大	0	0	0	2	0	0	0	0		2

大阪公立大学(3塁側)

対

東大阪大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	2	府立生野	3	1	2	
2	遊	疋田	3	広島新庄	3	2	1	
3	右	前田	2	須磨学園	4	0	1	
4	指	中村	4	市立西京	3	2	1	
5	三	石守	3	札幌開成中等教育学校	3	2	1	
6	一	大西	3	長田	3	1	2	
7	左	林	1	大阪明星	3	1	2	
8	二	樋口	3	刈谷	4	0	0	
9	捕	小田竜	3	県立伊丹	5	0	0	
投		吉岡	2	大阪明星	-	-	-	
		古谷	4	県立高島	-	-	-	
		中野	4	兵庫	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	12	4	0	4	31	9	10

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	椎名	2	尽誠学園	3	0	0	
2	一	由井	3	小諸商業	3	1	0	
3	遊	山口	4	大阪体育大学浪商	4	1	1	
4	左	石田麗	4	岐阜第一	3	2	0	
	走	新谷	4	益田東	0	0	0	
5	指	中尾	3	盛岡大学附属	4	1	1	
6	右	石井	3	山形城北	2	0	0	
7	二	太田	3	神戸第一	3	0	0	
8	捕	濱本	2	大阪電気通信大学	3	0	0	
9	三	田中	1	高朋	3	0	0	
	三	上田太	2	倉吉北	0	0	0	
投		采野	2	奈良朱雀	-	-	-	
		藤原	2	門真西	-	-	-	
		上田大	4	倉吉北	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	2	4	0	2	1	28	5	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
吉岡	5	69	18	17	3	0	1	2	0
古谷	2	41	10	7	1	1	3	0	0
中野	1	14	4	4	1	1	0	0	0
合計	8	124	32	28	5	2	4	2	0

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
采野	5	97	26	17	5	0	6	5	4
藤原	2 1/3	59	16	11	3	3	5	6	0
上田大	2/3	14	5	3	1	1	1	1	0
合計	8	170	47	31	9	4	12	12	4

【戦評】

開幕からの勢いそのままに、本日も攻めの姿勢全開で勝利を掴もうと闘いました。

1回の表、いきなり試合が動きます。

一死から疋田（工3・広島新庄）が四球で出塁し、続く前田（現2・須磨学園）の内野ゴロで二死一塁とすると、前田が盗塁を決め二塁へ進みます。ここで主将中村（文4・市立西京）が待ちに待った安打を打ち、適時二塁打で1点を先制します。また、大西（法3・長田）も適時打を打ち1点を追加。計2点を先制し、初回から盛り上がりを見せます。

1回裏、本日先発の吉岡（法2・大阪明星）は、持ち前の冷静なピッチングで相手を三者凡退に抑えます。

2回表、二死から根来（経2・府立生野）が四球で出塁し盗塁を決めます。続く疋田が放った打球は、レフトを大きく越える三塁打となり、1点を追加します。

2回裏、吉岡は先頭に安打を許しますが、次打者を抑えるとその次を併殺打に打ち取り、3人で攻撃を終わらせます。また、3回はストライク先行の好投で、三者凡退に抑えます。

4回表、先頭の小田竜（工3・県立伊丹）が相手の失策で出塁すると、根来が一発で犠打を決め一死二塁とします。続く疋田がまたも安打を打ち一三塁とすると、前田の犠飛により1点を奪います。

5回表、先頭の中村が四球を選ぶと、石守（経3・札幌開成中等教育学校）の犠打と、外野フライのタッチアップで三塁に進みます。ここで続く林（工1・大阪明星）が、期待に応える適時打を打ち1点を追加。林はリーグ戦初のヒットとなります。

一方の守備は4回裏、先頭を失策により出塁させ、盗塁を許します。次打者も四球で出塁し無死一二塁のピンチを迎えると、ここで安打を放たれ1点を返されます。尚も一二塁の場面、打者を外野フライで打ち取ると、タッチアップした二塁走者を三塁で仕留め、一気に二死とします。しかし、続く打者に適時打を許しさらに1点を追加されます。

点を返されたのはものの、好投を続ける吉岡は5回裏を三者凡退に抑え、ここでマウンドを次に託します。

6回表、一死から連続四球で一二塁とすると、続く打席で相手のダブルエラーにより1点を返します。

6回から古谷（経4・県立高島）が登板します。先頭に四球を許しますが、小田竜がリーグ戦初の盗塁刺を決めます。しかし次打者に安打を放たれ、二死としてから四球を与え一二塁とされます。ここで放たれた打球は安打かと思われましたが、レフト林がスーパーキャッチを見せ、無失点で切り抜けます。

古谷は7回にも、四球や味方の失策でピンチを背負いますが、後続を抑え得点を許しません。

8回表、一死から四球と相手の失策で出塁すると、中村・石守が続いて安打を打ち1点を追加。また、満塁の場面で四球により押し出しとなります。ここで相手投手は代わりますが、続く林が犠飛を打ち1点を追加します。樋口（工3・刈谷）が四球、小田竜が相手の失策で出塁するとその間に1点を奪います。またも満塁とすると、続く根来の安打により2点を追加。計6点のビッグイニングとなります。

8回裏を任された中野（商4・兵庫）。先頭から三振を奪うと、テンポ良く次を打ち取り二死とします。ここから安打を許しますが、最後を落ち着いて抑えコールドで試合終了。12-2で勝利いたしました。